



館報 あもり

発行所
長野市立安茂里公民館
電話 226-4059
発行人 新見 宏司
発行月 5.7.9.11.1.3月
(株) 信光社

＝ コロナ禍の成人式 ＝ 運営委員が参加し、You Tube 配信

本日、私たちは人生の大きな節目を迎えました。こうして無事に成人式を迎えることができたのも、共に学びあつた仲間たち、我が子のように接し、指導していただいた先生方、温かく見守っていただいた地域の方々、そしてなにより、今日という日を待ち望み、厳しくも、愛情深く育ててくれた両親のおかげです。新成人を代表し、改めて感謝申し上げます。

さて、今年は新型コロナウイルスの影響が色濃く出た一年間だったと思います。東京オリンピックの延期や、緊急事態宣言による自粛期間など、例年とは異なる生活様式が求められました。また感染拡大の懸念から、本日はこのように YouTube によるライブ配信という形で式典を行うことになり、例年とは異なる形での開催となりました。収束に向けて、一人一人が今自分に何ができるのか、何をすべきなのかを考え、行動することが重要だと思います。

これからの人生においても、大きな困難に見舞われることや様々なことを経験することもあると思いますが、これからは成人としての自覚と責任を持ち、一人一人が目指す目標に向けて挑戦し、それぞれ舞台で最善を尽くせるよう努力していこうと思います。私たちの中には既に社会に出ている者もいれば、進学して勉学に励んでいる者もおり置かれた状況は人それぞれです。これから社会に出る者として、まだまだ未熟な点多々あるかと思いますが、今後とも皆様の御指導御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後にになりましたが、本日の式典を挙行していただきましたことに改めて感謝申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。



新成人代表謝辞
菱田 大雅

安茂里地区 世帯数と人口 (2月1日現在)	
世帯数	9,163戸
総人口	20,725人
男	9,963人
女	10,762人

杏仁

「弥生三月」：柔らかな響きを持つ此の言葉は、私たちに待ちに待った春の訪れを感じさせてくれます。しかし、「春は名のみ風の寒さや」で始まる早春賦の歌詞のように3月初めのこの時期はまだまだ寒い日が多く、それこそ「三寒四温」、寒い日と暖かな日を繰り返しながら一日と本格的な春に近づいていきます。ましてや暦の上で春を迎える「立春」の頃の2月初旬ともなれば、信州はもちろん北の国々は未だ寒さ厳しい冬の装いの中にあります。そうした中、手紙などの時候の挨拶で「春まだ浅い今日このごろ」といった待ちに待った春を「春浅い」という表現であらわした日本人の感性の素晴らしさに敬服してしまいます。それにしても日本語はなんと綺麗な表現が多いことでしょうか。

さて、まもなく信州も本格的な春を迎えます。厳しい寒さを乗り越えて迎える信州の春は様々な花が一気に咲き誇り、それこそ百花繚乱というにふさわしい景色に包まれます。コロナ禍が続く中ではありますが、一年ぶりの信州の春を体いっぱい感じる機会を是非どこかで作りたいものです。



コロナ禍に学ぶ

宮島 志歩

私はこれまで、「コロナのせい」という言葉をよく口にしていました。旅行や外食ができず、成人式も対面で行えず、これまで当たり前で生きていたことができなくなり本当に不自由を感じていました。しかし、この成人式の運営を通して、今の状況に文句を言うのではなく、どうにかして納得のいく方法を考えようという姿勢を学びました。マイナスに考えているだけでは何も解決しません。私自身見方が変わってから、今の状況にならなければ没頭できなかった趣味を見つけたことができたり、時間の使い方や、優先順位の付け方などを上手に考えることができるようになったりと、成長していることを自覚しています。こうした限られた中で解決策を探ったり、できることを見つけたということができるようになったことは、一人前の大人への一歩になったのではないかと感じており、これからは逆境にも強く向かっていけるよう頑張りたいと思っています。

20歳の抱負

宮尾 優衣



1月に成人式を終え、異例のオンライン開催という形になり、同級生のみんなと晴れ姿で集まることは叶いませんでしたが、多くの方々にお祝いしていただき、20歳という節目の年であるということを実感することができました。20歳の抱負は、今までお世話になった方々への感謝の気持ちや忘れず、自分の夢に向かって歩んでいくことです。また、20歳は大人の仲間入り

成人を迎えて

峰村 圭



二十歳になり社会的には大人の仲間入りをしたことで、成人になるということについて考えるようになりました。私は、高校を卒業し専門学校に入学してから1年後、違う進路に向かう決断しました。この私の決断で両親にはたくさん心配と迷惑をかけました。それでも私の決断を反対せず応援してくれた両親には、感謝しています。コロナの感染が広がる中、私たちは人生の大切な節目でもある成人の日を迎えました。成人式の役員として、必ず成人式は成功させたいと地区の役員の方々と話し合いをしてきました。

私たちの地区では例年より会場をより大きな場所で行うことで感染を防ごうと考えてきましたが、コロナの感染が拡大し12月には、約300人が集まる式を挙げるのが難しいという判断となり、コロナ感染の恐ろしさを実感しました。もう、成人式を行う事ができない、晴れ衣裳が着れない、なんで私たちだけができないんだらうという葛藤を抱くこともありましたが、それでも地区の役員の方々のおかげで、リモートでの成人式を行うことができました。前代未聞のリモート成人式は、たくさん不安がありましたが、無事に成功させることができました。成人したからといえ、まだまだ未熟ですが、これからやるべき事、私のやりたいことを両立していきたいと思っています。感謝の気持ちと大人としての自覚を忘れずに一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。



短歌趣味の会

寒き夜にふと目の覚めて
ラジオから万葉集の恋歌を聞く
小林 靖子

コロナ禍に休館続く美術館
掛け軸の美人大あくびかも
磯野 智子

クラスの子四十人は多すぎる
小人数はみんなの願い
傳田 紀昭

戸隠の木道奥社へ枯葉踏む
草木の名を知る友たちと
磯野 博康

人の役にちよつとたてるは
嬉しかり充実したる今日の日
小林 道子

裏窓はもみぢ写して朱に染まる
黄菊も生けてなほに明るし
酒井 純子

正面のみみじの山に吸い込まれ
行けるといいな異次元の世界
寺島 みき子

大鉢に葉牡丹植えて幸多き
春を迎えお心楽しく
林 道子

知られざる戦禍の安茂里⑤

昭和の安茂里を語り継ぐ会

最終回 安茂里であったことを

語り継いでいきたい

これまで林部隊（独立工兵隊第94大隊、捷36395部隊「水戸の工兵隊」）関連の動きと海軍通信隊・蘭田部隊

名も駐屯している共和国民学校に8月になって海軍（蘭田部隊の後着部隊）も駐屯するといのは何らかの理由がある筈である」

く、別々の動きとみてきました。しかし、終戦時は陸海軍一体化の大きな動きになりつつあったことから安茂里・川中島・共和で起こっていたことは一連のものであったのではないかと、調査半ばではあります。ふと思うようになり、それは、これまで判明した以下のような事実から推論できるからです。

「林部隊が作戦を実行した犀川神社付近他3か所の洞窟掘削工事現場のうち、その中心と思われる観音沢を8月3日に司令官である少将閣下が視察しているのですが、その少将とは大本営陸軍通信隊の佐々木少将だと思われ、その穴は海軍も含んだ通信関連の穴だったのでないか」

「水戸の工兵隊が共和地区の中尾山で掘った穴の中には通信機らしきものがあつた。その様子を描いた瀧澤孝正さん（共和地区在住）のスケッチを見た岡村元一さんは『小市分教場で見た海軍の通信機にそっくりだ』と話した」と

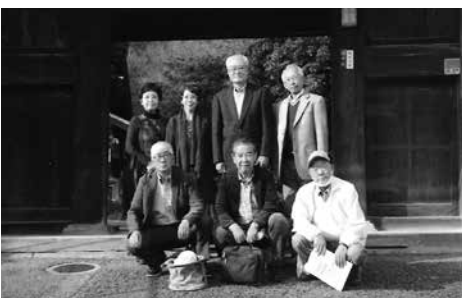
「海軍通信隊・蘭田部隊は東京海軍通信隊の一部隊であつて、第5分遣隊でもあろうし、ゆくゆくは大本営陸軍通信隊と合隊して、大本営通信隊になったのでは」

「そもそも陸軍が300余

名も駐屯している共和国民学校に8月になって海軍（蘭田部隊の後着部隊）も駐屯するといのは何らかの理由がある筈である」



大本営海軍部壕の整備階段の設置を終えて「よくやった」と一同で（提供：松坂明氏）



海軍部壕の場所選定に関わったと思われる、藤原参謀の遺族をお迎えして塚田邸の前で（提供：松坂明氏）

門）の疎開あるいは移転か、その地下工場建設を考えていたのではないのか……象山地下壕での原爆製造計画（「日本帝国の悲劇」トーマス・M・コッフィ）があつたこともふと頭をよぎつたが……。

とにかく終戦時の安茂里は海軍も陸軍も集結していて凄惨な体験は75年経つと忘れ去られるというが、戦後75年以上を経たこの頃はなにか危ういものを感じる。今から考えるともあまりにも馬鹿げたことを、当時は本気になってやっていた。だからこのことは絶対に後世に伝えていかねばならない」と訴えられました。

「語り継ぐ会」は皆様のご協力を得て今後も調査を続け、

「軍が掘ったという小市の壕のことは凡そ知っておりませんが、今回土屋先生からお願いされ、岡村元一さんと共に調査を進めたところ様々なことが分かつて、戦争のない良い時代に生まれていて本当に良かったと思つた次第です。今はのどかな住宅地ですが、76年前に書かれた「自由日記」に出会い一変しました。当時の事実をさらに調べ、後世に伝えていきたいと思つております。今後も皆様のお力添えをお願い申し上げます。」

昭和の安茂里を語り継ぐ会
土屋 光男

公民館講座の紹介

ボールを使った体幹ストレッチ

1月14日(木)、21日(木)、28日(木)の3回シリーズで「ボールを使った体幹ストレッチ」を開催しました。

長野市のスポーツ教室などで指導されている西澤真由美先生を講師に迎え、冬の寒さを吹き飛ばすような元気いっぱい講義になりました！

参加された皆さんは、回が進むごとに体が軽くなった、気持ちよかったですと実感されたようです。ストレッチポール1本で色々な部分を効果的にストレッチ出来ることを学び大満足の様子でした。

これからも継続したいとの声が多く寄せられたため来年度、成人学校を開講予定です。詳細は4面をご覧ください。



令和3年度

成人学校講座の内容

場所/長野市立安茂里公民館

講座名	曜・時間	1 学 期	2 学 期	3 学 期	講 師		
初心者の手あみもの(定員20名) ※4月12日開講	(月) 午前 10:00 ~ 12:00	◎初めてカギ針・棒針を持つ方の講座です。 1枚ごとに製図をし、修了までには一人で製図ができます。 ○棒針編みのハンドウォーマー・スヌード等の製作により基本技法を学ぶ。 ○ウキウキベスト・横編みチュニック・かるーいカーディガン。 ○カギ針編みのエコバッグ・マスクケース等の製作により基本技法を学ぶ。 ○サマーベスト・モチーフのカーディガン・Vネックベスト。			岡村 啓子		
英会話(初級)(定員20名) ※4月12日開講	(月) 午後 1:30 ~ 3:30	○中1～高1程度の内容 特に、中学校で学習する文法や会話表現をしっかり学ぶ。 ○リスニング、リーディング、音読を通して様々な英語を浴びる。 ○4～5月は、英語を思い出すようにあいさつ、数字などの基礎を重視する。 ○海外旅行で使用する基本的な表現を身につける。 ○週末の出来事などについて話せるようにする。			向山 智子		
書道(定員20名) ※4月13日開講	(火) 午前 10:00 ~ 12:00	○漢字の学習 ・基本技法 ・楷書を習う ・行書を習う ・隷書を習う ○調和体の学習 ・基本学習 ・身近な言葉を書く ○かなの学習 ・いろは単体を習う ・変体がなを習う	○漢字の学習 ・草書を習う ・古典を学ぶ ・楷書、行書、草書 ○調和体の学習 ・詩、歌、文章を書く ○かなの学習 ・古筆を学ぶ ・俳句を書く ・和歌を書く	○作品の制作 ・漢字、調和体、かなともに作品に仕上げる	新井 清玉		
実用英会話(定員20名) ※4月13日開講	(火) 午後 1:30 ~ 3:30	○絵カード、会話カード等を使って基本的な英語の表現力をつける (中2～高1程度の内容) ○日常生活などについてできるだけ英語で話してみる	○絵カードを見て、英文を作ったり、クラスメートに質問したりしてみる ○新聞やTVのニュース、身の回りのできごと等について話してみる	○更に会話力をつける ○フリートーカーキング	近藤 秀子		
水彩画(定員20名) ※4月15日開講	(木) 午後 1:30 ~ 3:30	◎身近な生活の中で絵のモチーフを見つけ、構図を考えて描く。 また、作品を額に入れて飾って楽しむ。 ○水彩画の用具、用紙、水張りの説明 ○鉛筆デッサン、色彩(色相、明度、彩度)について ○春の花、野菜を描く ○新緑の風景を描く			○人物 クロッキーを描き作品に仕上げる ○夏の野菜、花を描く ○秋の果物を描く ○紅葉の風景を描く	○人物 クロッキーを描き作品に仕上げる ○冬の野菜、花、生活の道具等静物を描く ○日常の中で心に残る情景を見つけ作品に仕上げる	島田 恵子
新講座 ポールを使ったストレッチ(定員15名) ※5月27日開講(全12回)	(木) 午後 1:30 ~ 3:30	○ストレッチポールを使い、姿勢改善と体幹の安定を身に付ける。 ○ゆっくりとしたストレッチで血行を良くし、疲れにくい身体づくりを行う。 ○腰痛・肩こり・膝痛などの身体の不調改善を目指す。			西澤真由美		
楽しむ「かな書道」(定員20名) ※4月16日開講	(金) 午前 10:00 ~ 12:00	「書」を生活の中で楽しむためにまず、かな書道の基礎を学びます。 (太筆、細筆を使用) ○かなの基本線 ○ひらがなの単体 ○変体がな ○連綿 (2～5文字くらいのもの) ○俳句を細筆で書く	○和歌の行書き ○手紙(年賀状を中心に) ○散らし書き ○太筆での作品制作	○和歌や俳句を短冊や半懐紙に書く ○作品に仕上げる ○「書」を生活の中で楽しむ	日詰 静琴		

成人学校への入学手続き等

- ① 1学期受付日 令和3年4月2日(金) ※10時から(新規受講者) ※10時45分から(継続受講者)
- ② 受講料 各学期8,000円(学期毎に) 釣り銭のないようにお願いします。(材料費等は含まれません。)
- ③ 回数 週1回で年間36回(1学期12回)